

活動報告①

汚水処理生物研究会第3回勉強会開催報告

幹事 吉田 恵也

平成 28 年 5 月 14 日（土）14 時より、公益社団法人宮城県生活環境事業協会の会議室と検鏡室において、第 3 回目となる汚水処理生物研究会の定期勉強会が開催されました。当日は 24 名の方に受講いただき、遠くは名古屋からの受講生もいらっしゃいました。

はじめに、会議室で須藤隆一理事長の講義が行われ、第 3 回のテーマである「繊毛虫類 縁毛目 (Peritrica)」、和名では「ツリガネムシ」として馴染みのある原生動物の特徴と出現環境やそれぞれの同定のポイントなどについて、1 時間余りに及んで詳しく説明されました。

続いて、検鏡室に場所を移動し、顕微鏡 5 台を使い受講生がそれぞれ縁毛目の *Vorticella* 属（ボルティセラ）や *Epistylus* 属（エピスティルス）などを観察しました。また、液晶モニターを用いて画面上に映し出された原生動物を見ながら、須藤理事長から枝分かれがなく、糸筋体もないなどの *Epistylus* 属（エピスティルス）の特徴を教えてくださいました。

さらに、水処理技術者の受講生の中から、実際の浄化施設のサンプルを観察してほしいとのリクエストがあり、須藤理事長と受講生とで顕微鏡観察を行いました。その後も受講生からの質問が多数よせられ、第 1 回の定期勉強会と同様に予定終了時間を 30 分以上オーバーするほどの白熱した講義となり、第 3 回が終了しました。

次回、第 4 回目は *Aspidisca* 属（アスピディスカ）などの「下毛目」をテーマに、平成 28 年 8 月 6 日（土）14 時から同会場で行われる予定です。浄化槽や下水道で「水処理に貢献している微生物」に興味のある方、次回からの受講も可能ですので、是非事務局にお問い合わせください。

今後とも皆様のご参加をお待ちしております。



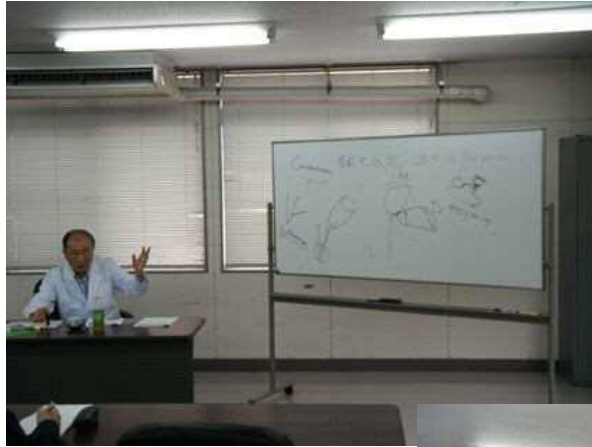


写真 講義と検鏡の様子